

V. 一般演題 口頭発表

化学系①：A 会場（クラスコード：cwy5tcg）

セッション 1 9:10 ~ 9:38

座長：中島誠也(千葉大院・薬) 中嶋龍(広島大院・医系薬)

- A-01 C11 位に着目した新規サキントキシン誘導体の合成と活性評価
○星美波¹、石塚颯¹、安達葉菜¹、高柳優夏¹、千葉修²、此木敬一²、山下まり²、長澤和夫¹ (¹東農工大院・工、²東北大院・農)
- A-02 2位置換型 19-ノルビタミン D₃ 合成における立体選択性
○水本結花¹、坂本良太¹、Shadi Sedghi Masoud¹、永田亜希子¹、橘高敦史²、小田木陽¹、長澤和夫¹ (¹東京農工大院・工、²帝京大院・薬)
- A-03 バトラコトキシンの全合成研究
○渡邊祐基、鎌倉大貴、武藤大之、萩原浩一、井上将行 (東大院・薬)

セッション 2 9:50 ~ 10:18

座長：中嶋龍(広島大院・医系薬) 中島誠也(千葉大院・薬)

- A-04 立体選択的な (5*r*,8*r*)-diazadispiro[4.2.4⁸.2⁵] tetradecatriene 合成法の開発
○横江弘雅、水村優香、吉田佐恵、桐山明子、津吹政可、叶直樹 (星薬大・医薬研)
- A-05 NF- κ B 阻害活性物質 Embellicine A の四環性骨格の構築法の開発
○前田翼¹、坪郷哲²、田中健太¹、内呂拓実¹ (¹東京理大・薬、²東大・理)
- A-06 Pyrrocidine A のデカヒドロフルオレン骨格部位構築法の確立
○福原慎ノ介¹、坪郷哲²、田中健太¹、内呂拓実¹ (¹東京理大・薬、²東大・理)

セッション 3 10:30 ~ 10:58

座長：伊藤元気(明治薬大) 嶋田修之(北里大・薬)

- A-07 銀触媒による β -ナフトールの非典型的脱芳香化反応の開発
○本間榛花¹、伊藤翼¹、神田彩香¹、原田慎吾^{1,2}、根本哲宏^{1,2} (¹千葉大院・薬、²千葉大・MCRC)
- A-08 イナミドを用いた銀カルベン発生法による脱芳香族化反応の開発
○伊藤翼、本間榛花、竹中浩貴、広瀬峻平、原田慎吾、根本哲宏 (千葉大院・薬)
- A-09 銀ナイトレン種を用いた化学選択的かつ位置選択的な C-H 官能基化反応の開発
○小林真由、河野将人、原田慎吾、根本哲宏 (千葉大院・薬)

セッション 4 11:10 ~ 11:29

座長：嶋田修之(北里大・薬) 伊藤元気(明治薬大)

- A-10 Malibatol A 及び Vaticahainol 類の全合成
○足達勇介、中島誠也、根本哲宏 (千葉大院・薬)
- A-11 (±)-Brasiliquinone C の全合成
○三宅弘城、中嶋龍、熊本卓哉 (広大院・医系科学)

化学系②：B 会場（クラスコード：gpyc7dq）

セッション 1 9:10 ~ 9:38

座長：原田慎吾(千葉大院・薬) 末木俊輔(武蔵野大・薬)

- B-01 官能基密集型ポリアミンの合成を指向した β -エナミノカルボニル化合物の触媒的 C(sp²)-H アミノ化
○伊藤元気、中川知也、小泉茉友、森茉美子、前鶴彩乃、樋口和宏、杉山重夫 (明治薬大)
- B-02 ジフルオロプロパルギルエノールエーテル合成法の開発と応用
○岡村俊孝¹、小山田健太²、金澤純一郎²、宮本和範²、内山真伸²、岩淵好治³、叶直樹¹ (¹星薬大・医薬研、²東大院・薬、³東北大院・薬)

B-03 アミノカルボン酸を基質とした Friedel-Crafts アシル化反応

○呉 昊、澄田明成、尾谷優子、大和田智彦（東大院・薬）

セッション 2 9:50 ~ 10:18

座長:末木俊輔(武蔵野大・薬) 原田慎吾(千葉大院・薬)

B-04 高化学選択的なアルコールの触媒的リン酸化反応

○藤吉浩平、土門憲史、川島茂裕、山次健三、金井求（東大院・薬）

B-05 ボロン酸触媒とパラジウム錯体を併用した糖質の位置選択的アリル位置換反応

○中村優生、嶋田修之、牧野一石（北里大・薬）

B-06 特定の pH 領域選択的に機能する光分解性保護基の開発

○加藤大輝¹、平野智也²、影近弘之¹（¹医科歯科大生材研、²大阪薬大）

セッション 3 10:30 ~ 10:58

座長:石田寛明(昭和薬大・薬) 太田公規(昭和大・薬)

B-07 官能基結合位置がポルフィリンの腫瘍集積性に与える影響の評価

○西田光志¹、東條敏史¹、近藤剛史^{1,2}、湯浅真^{1,2}（¹東理大・理工、²東理大総研）

B-08 HDAC 阻害活性を有するポルフィリン誘導体の創製

○渡部寛也¹、東條敏史¹、近藤剛史^{1,2}、湯浅真^{1,2}（¹東理大・理工、²東理大総研）

B-09 ヒストンメチル化酵素(EZH2)を標的とした新規阻害剤の創製

○百瀬晴基¹、東條敏史¹、近藤剛史^{1,2}、湯浅真^{1,2}（¹東理大・理工、²東理大・総研）

セッション 4 11:10 ~ 11:29

座長:太田公規(昭和大・薬) 石田寛明(昭和薬大・薬)

B-10 ホウ素中性子線捕捉療法のための BSH 含有ナノ粒子の創製

○田中智博¹、上田大貴¹、鈴木実²、櫻井良憲²、青木伸^{1,3}（¹東京理大・薬、²京大・複合研、³東京理大・総合研究院）

B-11 BNCT 用ポリアミン誘導体の設計・合成および生物学的評価

○上田大貴¹、田中智博¹、鈴木実²、櫻井良憲²、青木伸^{1,3}（¹東京理大・薬、²京大・複合研、³東京理大・総合研究院）

化学系③：C 会場（クラスコード：lsad5jj）

セッション 1 9:10 ~ 9:38

座長:叶直樹(星薬大・薬) 高橋恭子(慶應大・薬)

C-01 Design, Synthesis and Anticancer Properties of Bis-, and Mono(Cationic Peptide) Hybrids of Ir(III) Complexes: Effect of the Number of Peptide Units on Anticancer Activity

○Jebiti Haribabu¹, Yuichi Tamura¹, Kenta Yokoi¹, Chandrasekar Balachandran¹, and Shin Aoki^{1,2}
(¹Faculty of Pharmaceutical Sciences, Tokyo University of Science, ²Research Institute for Science and Technology, Tokyo University of Science)

C-02 カルシウム依存的ながん細胞死を誘導するシクロメタレート型イリジウム錯体-ペプチドハイブリッドの設計、合成および生物学的評価

○横井健汰¹、Balachandran Chandrasekar¹、青木伸^{1,2}（¹東京理大・薬、²東京理大・総合研究院）

C-03 Design and Synthesis of Supramolecular Phosphatase Mimics Formed by the Self-Assembly of Monoalkylated Bis(Zn²⁺-cyclen) Complex, Copper and Functionalized Diimide Units

○Akib Bin Rahman¹, Yuya Miyazawa¹ and Shin Aoki^{1,2}（¹Faculty of Pharmaceutical Sciences, Tokyo University of Science, ²Research Institute for Science and Technology, Tokyo University of Science）

セッション2 9:50 ~ 10:18

座長:高橋恭子(慶應大・薬) 叶直樹(星薬大・薬)

- C-04 メチル基転移酵素を標的とした抗がん剤の創製
○久保勇平¹、東條敏史¹、近藤剛史^{1,2}、湯浅真^{1,2} (1東理大院・理工、2東理大・総研)
- C-05 放射線防護活性を有する 2-pyrrolone 類の設計、合成、活性評価及び標的分子の探索
○佐藤秀哉¹、越智進太郎²、水野皓介¹、氏田将平²、多田佳寿美²、松下洋輔^{2,3}、出口雄一³、鈴木啓司³、田中義正³、植田弘師³、稲葉俊哉⁴、細井義夫⁵、森田明典²、青木伸^{1,6}
(1東京理大・薬、2徳島大、3長崎大院、4広島大・原医研、5東北大院・医、6東京理大・総合研究院)
- C-06 造血管型プロスタグランジン D 合成酵素を標的とした分解誘導剤の開発
○横尾英知^{1,2}、柴田識人¹、永沼美弥子¹、伊藤貴仁¹、内藤幹彦¹、有竹浩介³、出水庸介^{1,2}
(1国立衛研、2横市大院、3第一薬科大)

セッション3 10:30 ~ 10:58

座長:山次健三(東大院・薬) 片川和明(武蔵野大・薬)

- C-07 タンパク質-タンパク質相互作用の解析を志向した細胞内触媒近接ラベル化の開発
○對馬理彦^{1,2}、佐藤伸一³、中村浩之¹ (1東工大・化生研、2東工大・生命理工学院、3東北大・学際研)
- C-08 固相法を基盤とした新規環状ジスルフィドペプチド合成法の開発
○志田颯、田口晃弘、小林清孝、崔 岩、高山健太郎、谷口敦彦、林良雄 (東京薬大・薬)
- C-09 マイオスタチンを阻害するペプチド-光酸化触媒コンジュゲートの開発
○岡本英之、谷口敦彦、宇佐美翔哉、勝山雅大、田口晃弘、高山健太郎、林良雄 (東京薬大・薬)

セッション4 11:10 ~ 11:29

座長:中村浩之(東工大) 田口晃弘(東京薬大)

- C-10 ヒストンアシル化触媒システムの構造チューニングによる位置選択性スイッチング
○野崎多実子、花田華世、山次健三、川島茂裕、金井求 (東大院・薬)
- C-11 ヒストンアセチル化触媒システムによる生細胞内でのエピゲノム編集
○山梨祐輝¹、藤原侑亮¹、佐藤優子²、木村宏²、山次健三¹、川島茂裕¹、金井求¹ (1東大院・薬、2東工大科学技術創成研究院)

化学系④：D会場 (クラスコード：ns6x4p2)

セッション1 9:10 ~ 9:38

座長:木下薫(明治薬大) 原康雅(千葉大院・薬)

- D-01 ニチニチソウに含まれる多量体アルカロイドの探索
○垣添佑介、平澤祐介、森田博史 (星薬大)
- D-02 アクチノロジン生合成におけるアリールカップリング反応機構の解析 (第2報)
○渡 進¹、橋元誠¹、田口貴章²、石川和樹¹、岡本晋³、市瀬浩志¹ (1武蔵野大・薬、2国立衛研、3農研機構)
- D-03 アクチノロジン生合成におけるアリールカップリング反応機構の解析 (第3報)
○橋元誠¹、渡 進¹、田口貴章²、石川和樹¹、岡本晋³、市瀬浩志¹ (1武蔵野大・薬、2国立衛研、3農研機構)

セッション2 9:50 ~ 10:18

座長:辻耕平(東京医歯大) 唐木文霞(北里大・薬)

- D-04 フラグメント分子軌道法による動的相互作用解析を用いた SARS-CoV-2 メインプロテアーゼと既存薬との結合性予測
○半田佑磨¹、川嶋裕介¹、畑田峻²、奥脇弘次²、秋澤和輝²、望月祐志²、古明地勇人³、田中成典⁴、古石誉之¹、福澤薫^{1,5}、米持悦生¹ (1星薬大、2立教大・理、3産総研、4神戸大院・シス情、5東北大院・工)

- D-05 HIV プロテアーゼ/逆転写酵素、HCV NS5B を標的とするピリジニウム型 C₆₀ 誘導体の創製
○小林透威¹、高橋恭子¹、中村成夫²、大江知之¹、増野匡彦¹ (¹慶應大・薬、²日本医大)
- D-06 Design and Synthesis of Inverse Agonists for Lipid Mediator Lysophosphatidylserine Receptors
○Yan Ge,¹ Misa Sayama,¹ Luying Chen,¹ Akiharu Uwamizum,¹ Yuko Otani,¹ Asuka Inoue,
²Junken Aoki,¹ Tomohiko Ohwada¹ (¹東大院・薬、²東北大院・薬)

セッション 3 10:30 ~ 10:58

座長: 福澤薫(星薬大) 橋元誠(武蔵野大・薬)

- D-07 Novel Curcumin Derivatives Generated from SAR Matrix Possess as Amyloid β Inhibitors for Alzheimer's Disease
○Rohmad Yudi Utomo^{1,2}, Yasunobu Asawa^{1,2} Atsushi Yoshimori³, Hiroyuki Nakamura¹ (¹Laboratory for Chemistry and Life Science, Institute of Innovative Research, Tokyo Institute of Technology, ²School of Life Science and Technology, Tokyo Institute of Technology, ³Institute for Theoretical Medicine, Inc.)
- D-08 チオアセトアニリドのシス-トランス異性化に与える効果の解析
○宋舒禱¹、湯玉蘭¹、尾谷優子¹、池田博隆¹、兵頭直²、山口健太郎²、稲垣都士¹、大和田智彦¹
(¹東大院・薬、²徳島文理大香川薬)
- D-09 リゾホスファチジルセリン受容体 P2Y₁₀ の活性化構造の解明と化合物による検証
○陳露瑩¹、佐山美紗¹、尾谷優子¹、上水明治¹、井上飛鳥²、青木淳賢¹、
大和田智彦¹ (¹東大院・薬、²東北大院・薬)

セッション 4 11:10 ~ 11:29

座長: 青木伸(東京理大・薬) 牧野宏章(東京理大・薬)

- D-10 N¹-メチルアデノシンを検出する有機化学反応の開発
○上川拓也¹、平野智也²、影近弘之¹ (¹医科歯科大・生材研、²大阪薬大)
- D-11 HIV 感染症の根治へ向けた DAG-ラクトン誘導体の創製
○石井貴大¹、小早川拓也¹、松田幸樹²、辻耕平¹、吉村和久³、満屋裕明^{2,4}、前田賢次²、
玉村啓和¹ (¹東京医歯大・生材研、²国際医療研究セ研・難治性ウイルス感染症、
³都健康安全研究セ・微生物部、⁴National Cancer Institute/NIH)

物理系・環境衛生系：E 会場 (クラスコード：15xof62)

セッション 1 9:10 ~ 9:38

座長: 武藤裕(武蔵野大・薬) 深水啓朗(明治薬大)

- E-01 鶏卵白リゾチームのアミロイド形成における CD スペクトルの変化
○白鳥友貴、阪口知代、島田洋輔、大塚裕太、後藤了 (東京理大・薬)
- E-02 ORAC 法および ESR 測定を用いた ALS 治療薬エダラボンの特徴の探索
○高塚美和、小林拳志郎、島田洋輔、大塚裕太、後藤了 (東京理大・薬)
- E-03 STEM-EDX を用いた probucol/ polyvinyl pyrrolidone-bromine 非晶質固体分散体の相分離評価
○原由梨、植田圭祐、東頭二郎、森部久仁一 (千葉大院・薬)

セッション 2 9:50 ~ 10:18

座長: 深水啓朗(明治薬大) 武藤裕(武蔵野大・薬)

- E-04 Crystal structural analysis and physicochemical properties of DL-mandelate salt of carvedilol
○Majid I. Tamboli, Takayuki Furuishi, Kaori Fukuzawa, Etuso Yonemochi (Hoshi University)
- E-05 結晶構造予測に向けた計算条件の検討 ～クロルゾキサゾン为例として～
○岡本有史¹、奥脇弘次²、古石誉之¹、福澤薫¹、米持悦生¹ (¹星薬大、²立教大・理)

E-06 Preparation and characterization of ionic liquids based on arginine

○王思然、古石誉之、福澤薫、米持悦生（星薬大院）

セッション 3 10:30 ~ 10:58

座長:後藤了(東京理大・薬) 川原正博(武蔵野大・薬)

E-07 ラマン分光法を用いたリポソームの調製工程モニタリング

○羽石一輝¹、藤井美佳¹、久田浩史¹、小出達夫²、深水啓朗¹（¹明治薬大、²国立衛研）

E-08 カルバマゼピンを用いた共結晶形成識別モデルの検討

○荒居玖志、植沢芳広、深水啓朗（明治薬大）

E-09 角層構成成分に対する界面活性剤の刺激性を簡易に評価する手法の開発

○後藤裕¹、寺山涼子²、深水啓朗¹（¹明治薬大、²株式会社ミロット）

セッション 4 11:10 ~ 11:29

座長:川原正博(武蔵野大・薬) 後藤了(東京理大・薬)

E-10 超音波応答性カチオン性多糖類コーティングナノバブルを用いた miRNA デリバリーツールの開発

○小野滉太¹、高橋葉子¹、齋藤聖純²、畠中祐希²、濱野展人¹、根岸洋一¹（¹東京薬大・院、²東京薬大・薬）

E-11 ペインティング用品中の特定芳香族アミンを生成するアゾ化合物の分析について

○佐藤芳樹、磯田信一（横浜市衛生研究所）

生物系①：F 会場（クラスコード：6nvg7k）

セッション 1 9:10 ~ 9:38

座長:大畑慎也(武蔵野大・薬) 松本靖彦(明治薬大)

F-01 δ オピオイド受容体作動薬間における痙攣作用発現差異の分子機序検討

○徳田明久¹、南雲康行²、片山璃沙子¹、上田壮志²、上園保仁³、山本直司²、斉藤毅²、沓村憲樹²、長瀬博²（¹筑波大院人間総合、²筑波大睡眠研究機構(WPI-IIIS)、³東京慈恵医大・医）

F-02 インスリンシグナルが関与する代謝変化と記憶能の関連

○矢花佳穂、岳桐、小貫ことみ、伊藤素行、殿城亜矢子（千葉大・薬）

F-03 ゼブラフィッシュ脳梗塞モデルを用いた加齢が脳機能回復に与える影響の解析

○南唯菜¹、大北真由¹、溝口貴正²、伊藤素行²（¹千葉大・薬、²千葉大院・薬）

セッション 2 9:50 ~ 10:18

座長:松本靖彦(明治薬大) 大畑慎也(武蔵野大・薬)

F-04 コレステロール代謝を調節するビタミン K 変換酵素 UBIAD1 の発現制御機構

○佐野翔¹、鎌尾まや²、須原義智¹、廣田佳久^{1,3}（¹芝浦工大院・生命創薬、²神戸薬大・薬、³シンシナティ大・医）

F-05 モノアミンオキシダーゼ B のゲラニルゲラノイン酸生合成への関与

○田端佑規^{1,2}、四童子好廣²（¹武蔵野大・薬、²長崎県立大・看護栄養）

F-06 時計遺伝子 Bmal1 によるベージュ脂肪細胞の誘導とその意義

○石井宏剛、和田平、榛葉繁紀（日本大・薬）

セッション 3 10:30 ~ 10:58

座長:芳田祐子(武蔵野大・薬) 田中芳夫(東邦大・薬)

F-07 発表者により取下げ

F-08 中脳アストロサイト由来神経栄養因子 MANF のマクロファージへの作用の解明

○竹中洋平¹、竹之内敬人²、月本光俊¹（¹東京理大院・薬、²農業・食品産業技術総合研究機構）

F-09 アトピー性皮膚炎への関与が示唆される *Delftia* 属菌

○大久保友隆、張音実、松本靖彦、加藤隼平、小笠原裕樹、杉田隆（明治薬大）

セッション4 11:10 ~ 11:36

座長: 田中芳夫(東邦大・薬) 芳田祐子(武蔵野大・薬)

F-10 放射線照射ヒト表皮角化細胞における活性酸素種産生機序の解明

○野村菜月¹、渡邊健¹、伊丹佐和子²、田沼靖一²、月本光俊²（東京理大院・薬、東京理大・薬）

F-11 子宮内膜細胞の分化過程で起こる細胞老化におけるプロゲステロン受容体膜構成因子1(PGRMC1)の役割

○津留涼也¹、吉江幹浩¹、小島淳哉²、西洋孝²、田村和広¹（¹東京薬大・薬、²東京医大・医）

F-12 Small-molecule screen to identify compounds improving sleep and memory in aged *Drosophila*

○侯 雪、林麗奈、伊藤素行、殿城亜矢子（千葉大院・薬）

生物系②：G会場（クラスコード：jfo5nck）

セッション1 9:10 ~ 9:38

座長: 善家孝介(武蔵野大・薬) 内海文彰(東京理大・薬)

G-01 グリオーマの悪性度に対する Notch-HK2 抑制経路の関与

○桑原周平、馬嘉帷、伊藤素行（千葉大院・薬）

G-02 急性房室ブロックウサギでの不整脈発生機序: L型 Ca²⁺チャンネルの関与

○川上聡士¹、石丸雄己¹、相本恵美¹、永澤悦伸¹、高原章¹（¹東邦大・薬・薬物治療学）

G-03 妊娠高血圧症候群の胎盤におけるアルファ1アンチトリプシンと HTRA の発現

○吉田佳乃子¹、草間和哉¹、石川源²、田村和広¹（¹東京薬大・薬、²日本医大・医）

セッション2 9:50 ~ 10:18

座長: 内海文彰(東京理大・薬) 善家孝介(武蔵野大・薬)

G-04 代謝型グルタミン酸受容体を介したビタミンKの神経分化機構

○山下裕太郎¹、高木勇太¹、鎌尾まや²、須原義智¹、廣田佳久^{1,3}（¹芝浦工大院・生命創薬、²神戸薬大・薬、³シンシナティ大・医）

G-05 転写共役因子 Vgll3 による筋分化の抑制

○鈴木孝行¹、平井直人¹、堀直人¹、高野博之²、山口直人¹、山口憲孝^{1,2}（¹千葉大院・薬・分子細胞生物学、²千葉大院・薬・分子心血管薬理学）

G-06 脱リン酸化酵素 Dullard は SMAD2/3 タンパク質レベルを減少させる

○野澤伊織¹、荒崎恭弘¹、秋谷拓郎¹、乾雅史²、野田政樹³、江面陽一^{3,4}、早田匡芳¹（¹東京理大・薬、²明大・農、³医科歯科大・難研、⁴帝京大・医療技術）

セッション3 10:30 ~ 10:58

座長: 高橋徹行(武蔵野大・薬) 田村和広(東京薬大)

G-07 テリパラチドの骨形成促進作用における Gprc5a の機能解明

○加藤宏典¹、荒崎恭弘¹、秋谷拓郎¹、野田政樹²、江面陽一^{2,3}、早田匡芳¹（¹東京理大・薬、²医科歯科大・難研、³帝京大・医療技研）

G-08 RNA 結合タンパク質 Cpeb4 は破骨細胞分化過程で核内局在する

○荒崎恭弘¹、李政道¹、秋谷拓郎¹、野澤伊織¹、江面陽一^{2,3}、早田匡芳¹（¹東京理大・薬、²医科歯科大・難研、³帝京大・医療技術）

G-09 RNA 結合タンパク質 Cpeb4 は破骨細胞分化を正に制御する

○李政道¹、荒崎恭弘¹、秋谷拓郎¹、野澤伊織¹、江面陽一^{2,3}、早田匡芳¹（¹東京理大・薬、²医科歯科大・難研、³帝京大・医療技術）

セッション 4 11:10 ~ 11:36

座長: 田村和広(東京薬大) 高橋徹行(武蔵野大・薬)

- G-10 神経膠芽腫細胞における CD73-A2B 受容体を介した放射線抵抗性と放射線誘導の細胞遊走
○北畠和己、鍛冶利幸、月本光俊(東京理大院・薬)
- G-11 *Malassezia* と *S. aureus* 共培養における NHEK の免疫応答
○加藤隼平、張音実、大久保友隆、杉田隆(明治薬大・微生物)
- G-12 がん細胞 の放射線抵抗性における CB2 受容体の関与
○岡本公英¹、坂本美咲²、北原大輔²、西野圭祐¹、北畠和己¹、月本光俊² (¹東京理大院・薬、²東京理大・薬)

医療系①: H 会場 (クラスコード: xdt3wv4)

セッション 1 9:10 ~ 9:38

座長: 草森浩輔(東京理大・薬) 小俣大樹(帝京大・薬)

- H-01 肺への siRNA 導入に及ぼす正電荷リポソーム組成中のステロール類の影響
○齋藤大夢¹、尾崎恵一²、服部喜之¹ (¹星薬大・分子薬剤学、²同志社女大・薬・病態分子制御学)
- H-02 リバーストランスフェクションに用いる凍結乾燥 siRNA リポプレックス調製時の凍結過程の有無による siRNA の遺伝子発現抑制効果
○唐 敏、胡蘇彬、服部喜之(星薬大・分子薬剤学)

H-03 発表者により取下げ

セッション 2 9:50 ~ 10:18

座長: 多田壘(東京薬大) 鈴木直人(日本大・薬)

- H-04 疾患治療への応用を目的としたトウモロコシ由来ナノ粒子の開発と生理活性の解明
○佐々木大輔、草森浩輔、西川元也(東京理大・薬)
- H-05 リポソーム修飾間葉系幹細胞を利用した細胞間薬物輸送機構の解明
○木山育美、草森浩輔、高山幸也、西川元也(東京理大・薬)

セッション 3 10:30 ~ 10:51

座長: 多田壘(東京薬大) 鈴木直人(日本大・薬)

- H-06 リンパ節における免疫細胞への標的指向化を目的とした stearic acid 修飾多足型 DNA ナノ構造体の開発
○長岡誠、廖文卿、草森浩輔、西川元也(東京理大・薬)
- H-07 機能調節可能な細胞介在型遺伝子治療法の開発を目的としたアルギン酸カプセル内包 iC9 発現間葉系幹細胞の機能制御
○高村皓大、辻村真里、鈴木凌太、草森浩輔、西川元也(東京理大・薬)

セッション 4 11:10 ~ 11:36

座長: 細野浩之(帝京大・薬) 山本武人(東大・薬)

- H-08 乳がんゲノムデータベースを用いた SLC20A1 遺伝子発現と予後の検討
○翁長朝太郎¹、多森翔馬¹、本村瞳¹、藤田拓真¹、真野泰成¹、佐藤嗣道¹、田畑耕司²、佐藤圭子²、秋本和憲¹ (¹東京理大・薬、²東京理大・理工)
- H-09 ステージIII-IV乳癌における c-Met, PKC λ , ALDH1A3 共発現患者は予後不良である
○本村瞳、野崎優香、翁長朝太郎、尾崎綾葉、多森翔馬、秋本和憲(東京理大・薬)
- H-10 TNBC 型乳癌における PKC λ と GATA4 の免疫組織学的解析
○尾崎綾葉¹、多森翔馬¹、今岡宏太郎¹、山口淳三²、樋上賀一¹、秋本和憲¹ (¹東京理大・薬、²福岡青洲会病院・乳腺外科)

医療系②：I会場（クラスコード：tqfaeyw）

セッション1 9:10 ~ 9:38

座長：徳留嘉寛(城西大・薬) 植田圭祐(千葉大・薬)

- I-01 3次元ヒト鼻腔透明モデルを用いた温度感受性 *in situ* ゲル剤の鼻腔内滞留性の定量的評価法の開発
○谷川寛明¹、鈴木直人¹、橋崎要¹、長友太希¹、柳侑里¹、鈴木綾乃¹、金沢貴憲^{1,2}、田中融¹、小林俊亮¹、石毛久美子¹、柏田歩³、鈴木豊史¹（¹日本大・薬、²静岡県大・薬、³日本大・生産工）
- I-02 分子動力学法およびフラグメント分子軌道法によるカルバマゼピン/PVP 固体分散体の安定性に水が与える影響の検討
○佐藤佑悟¹、馬鼻寒²、東頭二郎²、川嶋裕介¹、奥脇弘次³、古石誉之¹、福澤薫¹、米持悦生¹（¹星薬大・薬、²千葉大院・薬、³立教大・理）
- I-03 Green Fluidized Bed Granulation (GFBG) における添加水分量の頑健性評価
○石川我汰¹、高崎宏²、櫻井敦司²、溝口雅之²、和田耕一²、古石誉之¹、福澤薫¹、米持悦生¹（¹星薬大院、²日本ベーリンガーインゲルハイム）

セッション2 9:50 ~ 10:18

座長：徳留嘉寛(城西大・薬) 植田圭祐(千葉大・薬)

- I-04 褥瘡治療を目的とした温度応答性ゲル製剤の開発
○村田大貴¹、河野弥生^{1,2}、岩野友香¹、嶋田修治¹、花輪剛久^{1,2}（¹東京理大院・薬、²東京理大・薬）
- I-05 温度応答性高分子を用いた外用基剤の検討
○星崎萌、河野弥生、花輪剛久（東京理大院・薬）
- I-06 イオン液体とカチオン・アニオン成分の活量把握のための膜透過利用
○白坂恵理¹、森健二¹、押坂勇志¹、武井千弥¹、藤堂浩明²、杉林堅次^{1,2}（¹城西国際大・薬、²城西大・薬）

セッション3 10:30 ~ 10:58

座長：田口真穂(横浜薬大) 安藤崇仁(帝京大・薬)

- I-07 低学年海外医療視察研修における事前事後学習とその教育効果について
○西丸宏¹、高田幸江²、馬場本絵未¹、加瀬義夫¹（¹武蔵野大・薬キャリ、²武蔵野大・看護）
- I-08 新型コロナウイルス感染症対策実施下の薬局実務実習における実習生の成長に対する指導薬剤師の評価
○園部堯仁¹、川上美好¹、上田祥貴¹、飯塚敏美^{1,2}、大島崇弘³、三浦輝久⁴、吉山友二¹（¹北里大薬、²(株)望星薬局、³(株)大島薬局、⁴(株)ファルマステップ）
- I-09 新型コロナウイルス感染症流行時期の薬局実務実習生の患者ケアの学びのプロセス
○上田祥貴¹、園部堯仁¹、川上美好¹、土井真喜²、吉山友二¹（¹北里大・薬、²(株)メディカルシステムネットワーク）